

【案内予告】

せんちゃん



令和2年度 文化庁 伝統文化親子教室事業
採択名称 「親子茶道教室 茶事『杓底一残水』」
文部科学省の「放課後子供教室」連携、品川区すまいるスクール教室のご案内

参加を検討されている皆様へ

この度、品川区すまいるスクールとの連携により、皆様に表題教室への参加の平等な機会の提供をさせて頂くことになりました。教室開催に当たり下記の通り、ご案内いたします。内容ご確認の上、お申し込みくださいます様、ご案内いたします。

任意団体 叡智得留倶楽部

代表理事・講師 湯澤秀昭（證道來果居士）

http://www.oycg.co.jp/hlclub/hlc_summary.html

記

1. 本教室は表題、文化庁の事業となり以下を目的としています。

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/oyako/91966101.html>

次代を担う子供たちが親とともに、……茶道……などの伝統文化、……に関する活動を計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供する……伝統文化等の継承・発展と、子供たちの豊かな人間性の涵養(かんよう)に資すること

2. 叡智得留倶楽部は2015(平成27)年度以来連続、主事業「伝統文化親子教室」で採択され、2019(平成31)年度からは「放課後子供教室」との連携教室も開始しています。

http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako_chado_jisseki.html

3. 茶道の歴史には茶の湯と煎茶道とがございませぬ。本教室ではその目的であり、二つの茶道を融合した「茶事」・「茶会」の内、「茶会」によるもてなしを全5回のプログラムで実現します。

「広報しながわ」2020年8月1日号「区民の伝言板」等で募集開始予定の茶室『叡智庵』（JR大崎駅徒歩5分）で「茶事」を行う主事業と合わせ、叡智得留倶楽部「2020(令和2)年度 親子茶道教室 茶事『杓底一残水』」専用ホームページで適宜情報発信していますので、ご確認ください。

http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako_chado/2020.html

4. 教室内容

イ) 教室初回；茶の湯を体験、2回目；煎茶道を体験、3回目及び4回目；茶の湯班と煎茶班に分かれ茶道の流派に拘らず、茶道の歴史的背景から子供たちが社会人となる為の事柄を学びつつ稽古し、最終5回目に客を迎え、茶の湯席・煎茶道席の二席の融合した「茶会」で何故おもてなしするのかを考えながらおもてなしします。

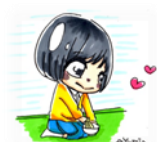
ロ) 班分けに当たり、2回の体験の結果からお子さんの希望をお聞きますが、当然のことながら社会では役割を考慮される等、必ずしも希望通りにならないことも学んで頂きます。

ハ) 本教室は全5回、及び所定時間はございませぬが、参加者がご自身の優先度を考慮し、単回参加・途中入退室されても構いません。それらの状況を踏まえ、「茶会」を構成いたします。

ニ) 子どもさんにテキストを配付します。ご家庭でのコミュニケーションの機会としてください。

5. 電熱器、熱湯を扱います。最善の注意、対処を致しますが、火傷のリスクを否定できません。

以上



ちやーちゃん